

令和6年度入学者選抜学力検査本試験問題

社 会

(配 点)	1 16点	2 12点	3 8点	4 8点
	5 12点	6 16点	7 16点	8 12点

(注意事項)

- 1 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
- 2 問題冊子は1ページから14ページまでである。検査開始の合図のあとで確かめること。
- 3 検査中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、静かに手を高く挙げて監督者に知らせること。
- 4 解答用紙に氏名と受験番号を記入し、受験番号と一致したマーク部分を塗りつぶすこと。
- 5 解答には、必ずHBの黒鉛筆を使用すること。なお、解答用紙に必要事項が正しく記入されていない場合、または解答用紙に記載してある「マーク部分塗りつぶしの見本」のとおりマーク部分が塗りつぶされていない場合は、解答が無効になることがある。
- 6 一つの解答欄に対して複数のマーク部分を塗りつぶしている場合、または指定された解答欄以外のマーク部分を塗りつぶしている場合は、有効な解答にはならない。
- 7 解答を訂正するときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 8 「正しいものを二つ選べ」など、一つの問題で複数の解答を求められる場合は、一つの解答欄につき選択肢を一つだけ塗りつぶすこと。

例「ウ」、「オ」を塗りつぶす場合

問 1	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input checked="" type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ	<input type="radio"/> オ	<input type="radio"/> カ	<input type="radio"/> キ	<input type="radio"/> ク	<input type="radio"/> ケ	<input type="radio"/> コ
	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ	<input checked="" type="radio"/> オ	<input type="radio"/> カ	<input type="radio"/> キ	<input type="radio"/> ク	<input type="radio"/> ケ	<input type="radio"/> コ

この場合、「ウ」、「オ」の順番は関係ない。

1 次の図1のAからDの国について、問1から問4までの各問いに答えよ。

図1



※国境線が未確定な部分には着色していない。

問1 右の表1は、図1中のAからDの国の首都で観測された月平均気温と月降水量をまとめたものである。表1中のアからエには、それぞれ図1中のAからDのいずれかの国の首都が当てはまる。図1中のBの国の首都に当てはまるものを、表1中のアからエのうちから一つ選べ。

表1 月平均気温と月降水量

	月平均気温 (°C)		月降水量 (mm)	
	1月	7月	1月	7月
ア	-2.8	27.2	2.1	170.6
イ	13.9	31.5	20.0	197.2
ウ	2.8	27.0	73.4	109.8
エ	1.0	19.5	54.4	83.9

(気象庁ホームページより作成)

問2 次の表2は、図1中のAからDの国と日本における自動車（四輪車）の生産台数、輸出台数、100人あたり保有台数を示したものである。表2中のアからエには、それぞれ図1中のAからDのいずれかの国が当てはまる。図1中のCに当てはまるものを、表2中のアからエのうちから一つ選べ。

表2 自動車（四輪車）の生産台数、輸出台数、100人あたりの保有台数

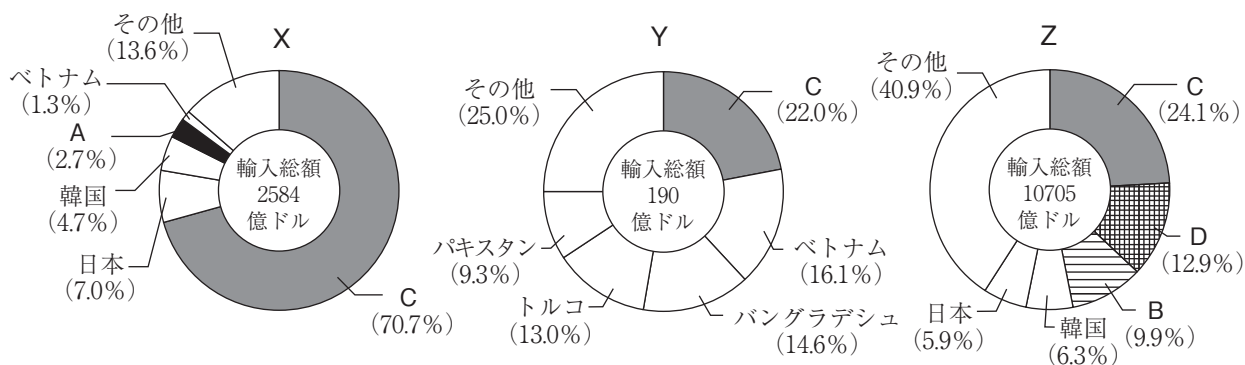
	生産台数 (千台)		輸出台数 (千台)		100人あたり保有台数 (台)	
	2004年	2017年	2004年	2017年	2004年	2017年
ア	1511	4783	196	844	1.2	3.5
イ	5071	29015	136	891	2.1	14.7
ウ	5570	5920	3924	4589	59.3	60.6
エ	11988	11190	1794	2839	79.6	84.9
日本	10512	9691	4958	4706	58.5	61.2

※自動車（四輪車）には、乗用車・トラック・バスも含む。

(『世界国勢図会 2006/07年版』、『世界国勢図会 2020/21年版』、『世界自動車統計年報 第18集(2019)』より作成)

問3 次の図2中のXからZのグラフは、綿花、原油、鉄鉱石のいずれかの輸入額上位5か国とその割合を示したものである。図2中のAからDは、図1中のAからDと同じ国を示している。XからZの組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

図2 品目別輸入額上位5か国とその割合（2021年）



※その他は、輸入額6位以下の国の総計を示している。

（『国際連合貿易統計年鑑70集(2021)』より作成）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
X	綿花	綿花	原油	原油	鉄鉱石	鉄鉱石
Y	原油	鉄鉱石	綿花	鉄鉱石	綿花	原油
Z	鉄鉱石	原油	鉄鉱石	綿花	原油	綿花

問4 次の表3は、図1中のAからDの国と日本における経済成長率、CO₂（二酸化炭素）総排出量、CO₂一人あたり排出量をまとめたものである。表3中のアからエには、それぞれ図1中のAからDのいずれかの国が当てはまる。図1中のAに当てはまるものを、表3中のアからエのうちから一つ選べ。

表3 各国の経済成長率、CO₂（二酸化炭素）総排出量、CO₂一人あたり排出量

	経済成長率 (%)		CO ₂ 総排出量 (百万 t)		CO ₂ 一人あたり排出量 (t)	
	1995年	2018年	1995年	2018年	1995年	2018年
ア	11.0	6.7	2900	9823	2.4	7.0
イ	7.6	6.5	703	2372	0.7	1.7
ウ	2.7	2.9	5074	4987	19.0	15.0
エ	1.5	1.1	857	704	10.5	8.4
日本	2.6	0.6	1118	1100	8.9	8.6

（『国際連合世界統計年鑑63集(2020)』、『国際連合世界統計年鑑65集(2022)』より作成）

2 日本の地理について、問1から問3までの各問いに答えよ。

問1 次の表1は、青森県、千葉県、滋賀県における2020年の15歳未満の人口と65歳以上の人口、2015年から2020年までの5年間の人口増加率を示したものである。表1中のAからCは、青森県、千葉県、滋賀県のいずれかに当てはまる。組み合わせとして正しいものを下のアからカのうちから一つ選べ。

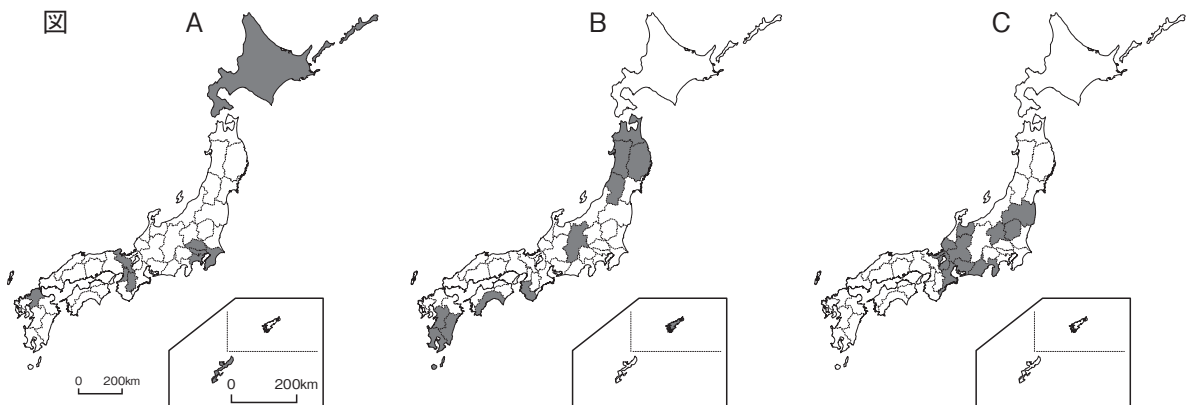
表1

県	15歳未満の人口	65歳以上の人口	人口増加率
A	734496人	1699991人	0.99%
B	191369人	365311人	0.05%
C	129112人	412943人	-5.37%

(「令和2年国勢調査結果」より作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
青森県	A	A	B	B	C	C
千葉県	B	C	A	C	A	B
滋賀県	C	B	C	A	B	A

問2 次の図は、都道府県別の就業者数に占める第一次産業、第二次産業、第三次産業それぞれの就業者の割合が全国で上位10位以内の都道府県を塗りつぶして示した地図である。図のAからCは、それぞれ第一次産業、第二次産業、第三次産業のいずれかに当てはまる。組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。



(「令和2年国勢調査結果」より作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
第一次産業	A	A	B	B	C	C
第二次産業	B	C	A	C	A	B
第三次産業	C	B	C	A	B	A

問3 次の表2、表3は、2種類の統計資料について、北海道、埼玉県、山梨県、京都府の四つの道府県に関する数値を抜粋したものである。表2は、宿泊施設への外国人の延べ宿泊者数（2月、8月、1年間）、日本人も含めた1年間の延べ宿泊者数に占める外国人の割合を示したものである。表3は、日本に居住する人で四つの道府県を主な目的地として訪れた国内旅行者について、宿泊旅行者と日帰り旅行者に分けて延べ人数を示したものである。なお、延べ人数とは人数×回数（泊数）を示す。

表中のアからエは、表2、表3ともに同じ道府県を示している。下に示す各道府県の状況も参考にして、北海道に当てはまるものを、表中のアからエのうちから一つ選べ。

表2 外国人宿泊者数に関する統計（2019年）

道府県	外国人の延べ宿泊者数			1年間の延べ宿泊者数に占める外国人の割合
	2月	8月	1年間	
ア	743770人	1036180人	12025050人	39.11%
イ	1236540人	646280人	8805160人	23.81%
ウ	167950人	177970人	2054960人	22.65%
エ	12430人	16100人	219520人	4.04%

〔宿泊旅行統計調査〕より作成

表3 日本に居住する人の国内旅行に関する統計（2019年）

道府県	訪れた宿泊旅行者の延べ人数	訪れた日帰り旅行者の延べ人数	訪れた旅行者の延べ人数（宿泊と日帰りの合計）
ア	837万人	1027万人	1864万人
イ	1847万人	849万人	2696万人
ウ	512万人	618万人	1130万人
エ	405万人	878万人	1283万人

〔旅行・観光消費動向調査〕より作成

各道府県の状況

北海道 豊かな自然が観光客を呼び寄せており、良質の雪を求め海外からのスキー客も多い。

埼玉県 首都圏に位置し、仕事での宿泊客は多いが、県の人口に対して観光客は少ない。

山梨県 東京から近く、高原や湖、温泉などの観光資源がある。夏には富士山への登山客も多い。

京都府 古くからの都市があり、有名な寺社なども多く、外国人にも知られた観光地である。

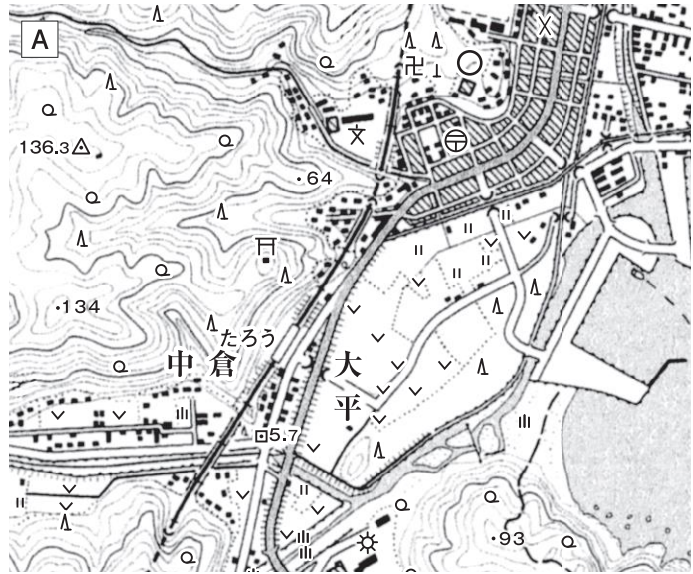
3 右のAからCの3枚の地図は、ある地域の約50年前、約25年前、最近の2万5千分1地形図の同じ範囲を拡大して加工したものである。これらを見て、問1、問2に答えよ。

問1 3枚の地図を年代の古いものから新しいものの順に並べたものとして正しいものを、次のアからカのうちから一つ選べ。

- ア A→B→C
- イ A→C→B
- ウ B→A→C
- エ B→C→A
- オ C→A→B
- カ C→B→A

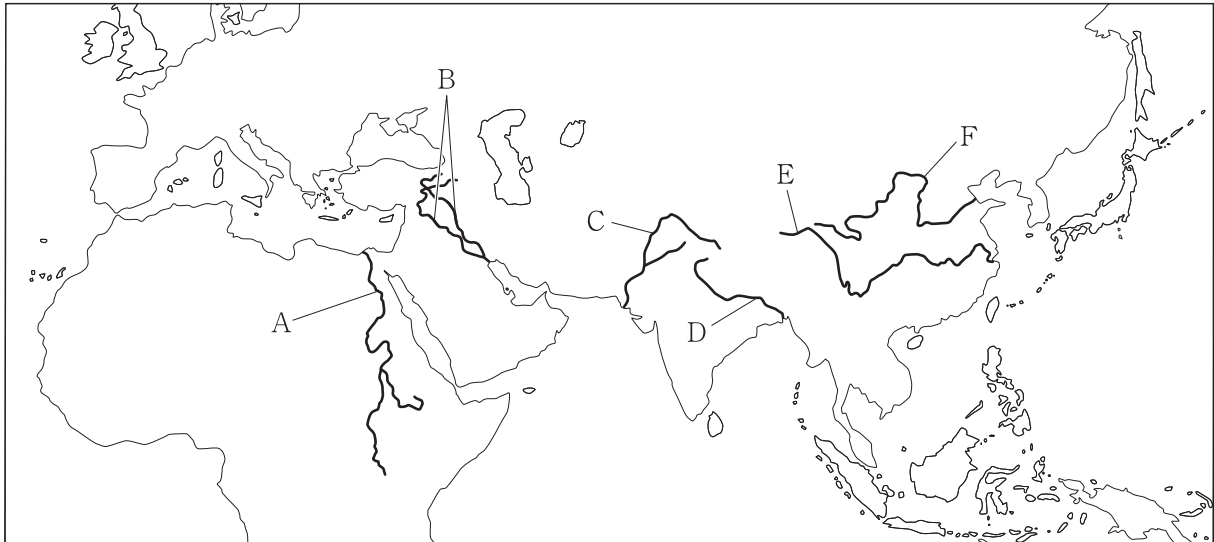
問2 これらの地図から読み取れることとして正しいものを、次のアからカのうちから一つ選べ。

- ア Aでは、「たろう」駅の東側から海までの間に畑と針葉樹林がある。
- イ Aでは、「たろう」駅の南に町役場がある。
- ウ Bでは、「たろう」駅の南西の河川沿いに果樹園が広がっている。
- エ Bの「たろう」駅の南東には、標高130m以上の山がある。
- オ Cでは、「新田老駅」の西に図書館がある。
- カ Cでは、海岸線から100m以内に神社がある。



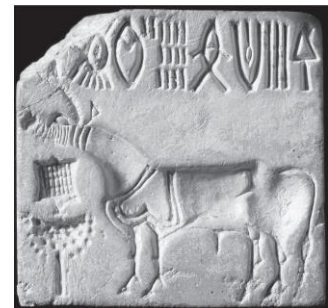
- 4 次の地図中のAからFは、古代の文明が栄えた地域の河川である。これを見て、問1、問2に答えよ。

地図



写真

- 問1 右の写真の中の文字は、古代の文明で使用されていたもので、いまだに解読されていない。この文字が使用されていた文明が栄えた地域の河川を、次のアからカのうちから一つ選べ。



- ア A イ B ウ C
エ D オ E カ F

- 問2 次のaからeの文について、地図中の河川Aの中・下流域に栄えた文明に関する説明として正しいものの組み合わせを、下のアからコのうちから一つ選べ。

- a 都市国家の一つであるアテネでは、成年男性からなる市民が参加する民会を中心に民主政がおこなわれた。
b モヘンジョ・ダロなどの都市では、整然とした道路や下水路などが整備された。
c 紀元前3000年ごろに統一王国ができ、神殿やピラミッドがつけられた。
d 月の満ち欠けに基づく太陰暦や、時間を60進法で測ること、1週間を7日とすることが考え出された。
e 川のはんらんの時期を知るために天文学が発達し、1年を365日とする太陽暦がつけられた。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
a・b	a・c	a・d	a・e	b・c	b・d	b・e	c・d	c・e	d・e

5 ケンタさんは税制の歴史について授業で発表することになった。異なる時代の税について調べてノートにまとめ、税の徴収に使われた帳簿を書き写して資料1、資料2を作成したが、調べた内容と資料との関係がわからなくなってしまった。資料1、資料2を見て、問1から問3までの各問いに答えよ。

資料1

(略)	中田 二反五畝	下田 四畝	中田 二畝	下田 五畝十五歩	中田 七畝十五歩	(略)
	三石	四斗四升	二斗四升	六斗五合	九斗	
	市兵衛	同人	同人	同人	源左衛門尉	

資料2

(略)	女大神部妹津売	男大神部伊止甫	妻中臣部与利売	戸主大神部荒人	(略)
	年十六歳	年二十六歳	年六十七歳	年五十七歳	
	小女 嫡女	兵士 嫡子	耆妻	正丁 課戸	

※いずれの資料も文字を読みやすく書き改め、一部に読みがなをつけたが、人名の読みは推定である。
 ※反・畝・歩は面積の単位、石・斗・升・合は容積の単位、正丁 = 21 ~ 60 歳の男性、課戸 = 税を負担する男性がいる戸、耆妻 = 66 歳以上の妻、小女 = 4 ~ 16 歳の女兒、嫡子・嫡女 = 長男・長女。

問1 次のAからCは、ケンタさんが異なる時代の税について調べてまとめたノートの一部である。資料1、資料2は、それぞれAからCのうちのいずれかに関連している。AからCと資料の組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

- A 戸籍に登録された6歳以上の人々には、性別や身分に応じて口分田が与えられ、人々は、男女ともに、口分田の面積に応じて収穫した稲の約3%を納めることになった。
- B 田畑の善し悪しや面積、実際に耕作している百姓を検地帳に登録し、石高に応じて年貢を納めることが義務づけられた。
- C 地券を発行して土地の個人所有を認め、土地所有者には地価の3%を納めさせるとともに、土地の売買も可能になった。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
資料1	A	A	B	B	C	C
資料2	B	C	A	C	A	B

問2 ケンタさんは、特に興味をもった資料1についてさらに調べてみることにした。資料1のよ
うな帳簿が使われた時代の幕府に関する説明として誤っているものを、次のアからエのうちから
一つ選べ。

ア 幕府はキリスト教の禁止を徹底するため、ポルトガル船の来港を禁止し、次いで平戸のオラ
ンダ商館を長崎の出島に移した。

イ 8代目の将軍は、質素・儉約を命じて幕府の財政立て直しに取り組んだほか、民衆の意見を
取り入れるために江戸に目安箱を設置した。

ウ 幕府の政策を批判する人々をきびしく弾圧した大老井伊直弼^{い い なおすけ}が、江戸城に向かう途中で水戸
藩の元藩士らによって暗殺された。

エ 幕府には将軍の補佐役として管領が置かれ、細川氏や畠山氏^{はたけやま}などの有力な守護大名が任命
された。

問3 発表を終えたケンタさんは、事後学習として、気になったことがらを調べてメモを作成した。
次のメモ中の□①と□②に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下のアからエの
うちから一つ選べ。

メモ

地方は国・郡・□①に分けられ、国ごとに都から派遣されてきた国司が、地方の豪族から任
命される郡司らを指揮して人々を治めた。しかし、10世紀後半になると、国司の役割は□②
から徴収した税を朝廷に納めることが中心になっていった。国司のなかには、自分では任命され
た国に行かないで代理人を送る者や、税をきびしく取り立てて自分の収入を増やす者などが増え
ていき、地方の政治はしだいに乱れていった。

ア ①-里 ②-公領

イ ①-惣村 ②-公領

ウ ①-里 ②-荘園

エ ①-惣村 ②-荘園

6 次の資料1から資料3は、第一次世界大戦から第二次世界大戦の間におこった社会運動に関連する資料である。資料1から資料3を見て、問1から問4までの各問いに答えよ。

資料1



資料2

米の騒動
各地に勃発す
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

湖の如く
富山に波及す
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

漁民に同情
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

女一揆
飛火す
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

堺の米屋續
市民の恐慌
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

泊町の救助
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

魚津の生地
不穏
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

多救警官
は一年に
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

四方町でも
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

飛火す
富山の騒動益々激しく
警察部長遂に出動す
關西方面にも波及

資料3



※資料中の演台に立つ人物は、大会で演説する山田孝野次郎少年である。

問1 資料1は、女性を社会的な差別から解放し、その地位を高めようとして明治末期に発刊された雑誌の創刊号の表紙である。この創刊号に次の文章を寄せた人物を、下のアからエのうちから一つ選べ。なお、文章は現代語に訳し、わかりやすくするために一部を補足したり省略したりしてある。

元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。他によって生き、他の光によってかがやく、病人のように青白い顔の月である。私たちはかくされてしまった我が太陽を今や取りもどさなくてはならない。

ア 市川房枝 イ 与謝野晶子 ウ 平塚らいてう エ 津田梅子

問2 資料2は、富山県の漁村の女性たちが米の県外積み出しに反対し、安売りすることを要求したことからおこった騒動^{そどう}についての記事である。この騒動は、日本のシベリア出兵をきっかけとして米の値段が急上昇したことが原因であった。この騒動によって生じた政治的変化を、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 伊藤博文が自ら立憲政友会の結成に乗り出した。
- イ 立憲政友会の内閣が倒れ、新たに桂太郎内閣が発足した。
- ウ 当時の内閣が退陣し、原敬^{たかし}が本格的な政党内閣を組織した。
- エ 加藤高明内閣において、治安維持法が成立した。

問3 資料3は、被差別部落の人々が人間としての平等を求めて結成したある団体の大会の写真である。この団体が結成された年^{ねん}におこった出来事として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が成立した。
- イ アメリカ、イギリス、ソ連の首脳がヤルタで会談した。
- ウ 日本とイギリスとの間で日英同盟が結ばれた。
- エ ドイツでは、ナチス（ナチ党、ナチス党）を率いるヒトラーが首相になった。

問4 資料1から資料3の社会運動について、資料1の創刊された年、資料2の騒動がおこった年、資料3の団体が結成された年を年代の古い順に並べ直したとき正しいものを、次のアからカのうちから一つ選べ。

- ア 資料1→資料2→資料3 イ 資料1→資料3→資料2 ウ 資料2→資料1→資料3
- エ 資料2→資料3→資料1 オ 資料3→資料1→資料2 カ 資料3→資料2→資料1

- 7 次の資料1は、ハルカさんが授業で調べた、人権に関する裁判の判決の内容である。資料1を読み、問1から問4までの各問いに答えよ。

資料1

憲法第19条*の規定は、同じ憲法第3章**のその他の(1)自由権の保障についての規定と同じく、国または地方公共団体の政治に対して個人の基本的な自由と(2)平等を保障する目的をもち、特に国または地方公共団体の関係を規律するものであり、個人と個人の相互の関係を直接規律することを想定しているのではない。このことは、(3)基本的人権という観念の成立および発展の歴史が示していることであるし、また、憲法の人権保障の規定の形式や内容をみても明らかである。

* 日本国憲法の条文「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」。

**日本国憲法のうち、第10条から第40条までの、国民の権利と義務が書かれた箇所。

- 問1 下線部(1)に関して、自由権のうち「経済活動の自由」が争点となった裁判の説明として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 学校で使用する教科書を文部省（現在の文部科学省）が検定する制度は、憲法の禁じる検閲けんえつにあたるとして訴えた裁判。
- イ 建築工事の安全祈願のための儀式をおこなうにあたり、市が神社に公費を支出したことが政教分離の原則に反するとして、市が訴えられた裁判。
- ウ 小説のモデルが特定の人物だとわかってしまうことはプライバシーの侵害だとして、その小説の出版の取り消しを求めて訴えた裁判。
- エ 薬局の開設にあたって、別の薬局からの距離が一定以上でなければならないという制約があるのは職業選択の自由に反すると訴えた裁判。

- 問2 下線部(2)に関して、現在の日本における、さまざまな人々の平等を実現するための対策や現状の説明として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 育児・介護休業法が制定され、男性の育児休暇取得率は大幅に上昇し、現在では男女間で取得率の差は見られなくなっている。
- イ 日本における外国人居住者は増加傾向にあり、外国人が不当な差別や不利益を受けないようにする対策が求められている。
- ウ アイヌ文化振興法などが制定され、同化政策を進めることによってアイヌ民族の差別解消が目指されるようになった。
- エ 男女共同参画社会基本法によってはじめて、性別を理由として募集や採用の機会を制限することが禁じられるようになった。

問3 下線部(3)に関して、次の資料2は、基本的人権の歴史において重要な役割を果たしたワイマール（ヴァイマル）憲法の一部である。資料2についての下の説明文a、bの正誤の組み合わせとして正しいものを、後のアからエのうちから一つ選べ。

資料2

第151条 経済生活の秩序は、すべての者に人間たるに値する生活を保障する目的をもつ正義の原則に適合しなければならない。この限界内で、個人の経済的自由は確保されなければならない。

第159条 労働条件および経済条件を維持し、かつ、改善するための団結の自由は、各人およびすべての職業について、保障される。

説明文

a 第151条では経済活動の自由の考え方が示されている。これは日本国憲法では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という条文で保障されている。

b 第159条では労働者の団結の権利が示されている。これは日本国憲法では、団体交渉権、団体行動権とならぶ労働三権の一つとして保障されている。

ア a-正 b-正 イ a-正 b-誤 ウ a-誤 b-正 エ a-誤 b-誤

問4 資料1には、立憲主義の考え方が反映されていると考えられる。資料1から読み取ることのできる、立憲主義における憲法の意義として最も適当なものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 憲法とは、国または地方公共団体が政治をおこなうあり方を定め、権力の濫用^{らんよう}から国民の人権を守るという意義をもつ。

イ 憲法とは、国家権力に反する行動をとる人間を取り締まり、犯罪に対する処罰を明確化するという意義をもつ。

ウ 憲法とは、家族関係や雇用関係など、個人と個人の間を規制し、人々の日常生活の秩序を保つという意義をもつ。

エ 憲法とは、国または地方公共団体の統治者が国民を統治しやすくするための手段としての意義をもつ。

- 8 次に示すのは、中学生A、B、Cが市内の若者シンポジウムに参加した時の一場面である。これを読み、問1から問3までの各問いに答えよ。

司会：では次のテーマです。現在わが国では、政府の財政赤字が長年の課題となっています。この課題をどのように解決すればよいでしょうか。まずは参加者のみなさんのご意見をお聞かせ下さい。

A：財政赤字は、政府の収入よりも支出が大きくなることで起こります。だから、政府の支出を減らせば財政赤字は解決できると思います。具体的には、国がおこなう仕事を減らせば、政府の支出も減ります。支出は税金などの収入に見合うようにすべきです。

B：国の仕事を減らすことには反対です。私たちの生活を支えるために、国がすべきことはたくさんあります。政府の支出に合うように、税金など収入を増やすことで財政赤字を解決すべきです。特に国が企業の努力を^{うなが}促して、国全体の経済状況をよくすれば、多くの人から幅広く集められる消費税による収入が増えると思います。

C：国の仕事を減らさず、税収を増やすことには賛成ですが、原則としてみんなが同じ税率である消費税を増やすと、所得が低い人の負担が大きくなると思います。税金は所得が高い人がなるべく多く負担すべきです。また、(1)企業などが納める法人税を、特に経営状況がよい企業を中心に増やすことも考えられます。

B：法人税を増やせば、企業の経営が悪化してしまうかもしれません。国としても(2)景気が悪くなるのは避けたいので、国が企業を支える積極的な手立てを考えた方がいいと思います。

A：そうするとやはり、税金を増やす方法自体に問題があります。国の仕事を減らして政府の支出を減らすことが最もよいと思います。

C：政府でなければ解決できない社会的な課題も多くあり、その仕事まで減らしてしまっただけでは財政赤字以外の課題を解決できません。所得の高い人から税金を多く集め、所得の低い人の生活を支えることも、政府の大切な役割です。

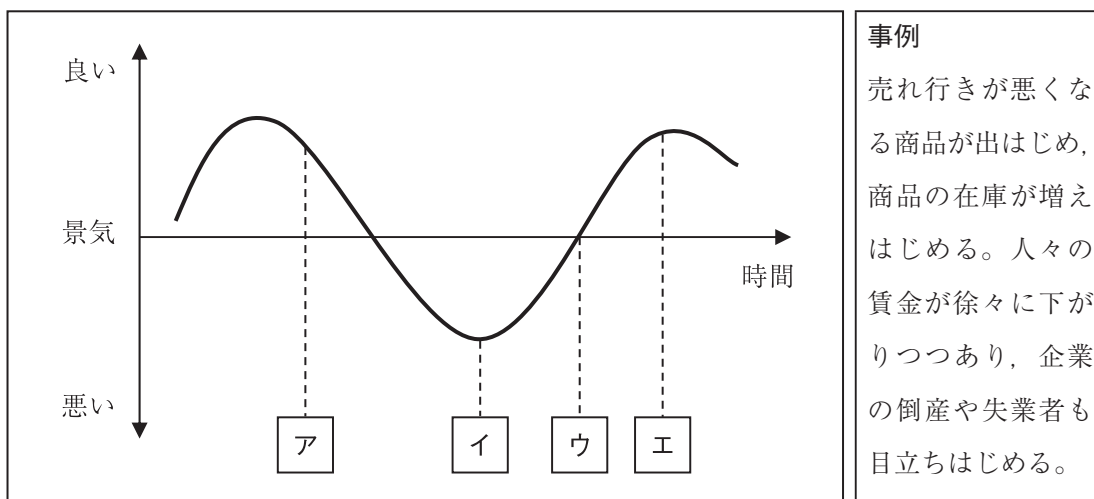
司会：それぞれの立場から発言してもらいました。ではこのあとは、専門家の先生のご意見を聞いて、よりよい解決策をともに考えていくことにしましょう。

- 問1 下線部(1)に関して、法人税と同様に、納める人と負担する人が同じである税を、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 関税 イ ガソリン（揮発油）税 ウ 消費税 エ 所得税

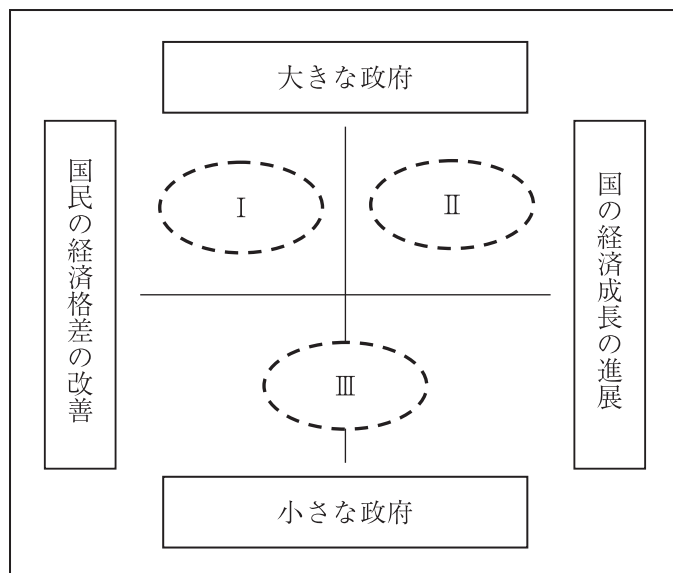
問2 下線部(2)に関して、左下の図1は、景気の変動と時間との関係を模式的に表したものである。右下の事例の状況がおこっている時期として最も適当なものを、図1中のアからエのうちから一つ選べ。

図1



問3 次の図2は、前ページの場面中でA、B、Cのそれぞれが述べたことを、「国民の経済的格差の改善」、「国の経済成長の進展」、「大きな政府」、「小さな政府」の4つの観点から整理しようとしたものである。A、B、Cのそれぞれが述べたことを、図2中のI、II、IIIのいずれかに当てはめたときの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

図2



- | | | | | | | | |
|---|-------|--------|---------|---|-------|--------|---------|
| ア | I - A | II - B | III - C | イ | I - A | II - C | III - B |
| ウ | I - B | II - A | III - C | エ | I - B | II - C | III - A |
| オ | I - C | II - A | III - B | カ | I - C | II - B | III - A |

